

# GRI内容索引

サステナビリティレポートは、GRI（Global Reporting Initiative）の「サステナビリティ・レポート・ガイドライン」の中核（Core）に準拠して制作しました。そのため特定標準開示項目は、マテリアルな側面（自社にとって重要だと選定した項目）のみ記載しています。

スタンダード

第4版

## 一般標準開示項目

### 組織のプロフィール

GRIスタンダード・開示事項		記載場所	省略	
GRI 102：一般開示事項 2016	102-1	組織の名称	> 会社概要	
	102-2	活動、ブランド、製品、サービス	> グループ企業一覧	
	102-3	本社の所在地	> 会社概要	
	102-4	事業所の所在地	> グループ企業一覧	「組織が事業を展開している国の数」は開示していません。
	102-5	所有形態および法人格	> 会社概要 > 株式基本情報	
	102-6	参入市場	> グループ企業一覧	
	102-7	組織の規模	> 会社概要 > グループ企業一覧 > サステナビリティ関連データ（従業員の状況） > 業績ハイライト・第一生命ホールディングス（従業員数）	
	102-8	従業員およびその他の労働者に関する情報	> サステナビリティ関連データ（従業員の状況）	

	102-9	サプライチェーン	> ステークホルダーコミュニケーション	
	102-10	組織およびそのサプライチェーンに関する重大な変化	> サステナビリティレポート	
	102-11	予防原則または予防的アプローチ	> リスク管理	
	102-12	外部イニシアティブ	> 社会への宣言・イニシアティブへの参加	
	102-13	団体の会員資格	> 社会への宣言・イニシアティブへの参加	

## 戦略

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 102：一般開示事項 2016	102-14	上級意思決定者の声明	> 社長メッセージ	

## 倫理と誠実性

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 102：一般開示事項 2016	102-16	価値観、理念、行動基準・規範	> グループのサステナビリティの考え方	

## ガバナンス

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 102：一般開示事項 2016	102-18	ガバナンス構造	> コーポレートガバナンス体制 > 推進体制	

## ステークホルダー・エンゲージメント

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 102：一般開示事項 2016	102-40	ステークホルダー・グループのリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ステークホルダーコミュニケーション</li> </ul>	
	102-41	団体交渉協定	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 従業員（労働組合）</li> <li>➢ 業績ハイライト・第一生命ホールディングス（従業員数）</li> </ul>	
	102-42	ステークホルダーの特定および選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ステークホルダーコミュニケーション</li> <li>➢ 反社会的勢力への対応</li> </ul>	
	102-43	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ステークホルダーコミュニケーション</li> <li>➢ サステナビリティ関連データ（お客さまとのかかわり）</li> </ul>	
	102-44	提起された重要な項目および懸念	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ステークホルダーコミュニケーション</li> <li>➢ お客さまへの取組み</li> <li>➢ サステナビリティ関連データ（お客さまとのかかわり）</li> </ul>	

## 報告実務

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 102 : 一般開示事項 2016	102-45	連結財務諸表の対象になっている事業体	> グループ企業一覧	
	102-46	報告書の内容および項目の該当範囲の確定	> 重要課題の選定プロセス > ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a>	
	102-47	マテリアルな項目のリスト	> 重要課題の選定プロセス > ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a>	
	102-48	情報の再記述	当期に重要な事象の発生はありませんでした	
	102-49	報告における変更	当期に重要な事象の発生はありませんでした	
	102-50	報告期間	> サステナビリティレポート	
	102-51	前回発行した報告書の日付	> サステナビリティレポート	
	102-52	報告サイクル	> サステナビリティレポート	
	102-53	報告書に関する質問の窓口	> サステナビリティレポート	
	102-54	GRIスタンダードに準拠した報告であることの主張	GRIスタンダード	
	102-55	GRI内容索引	GRIスタンダード	
	102-56	外部保証	> 第一生命保険WEB 環境：実績 <a href="#">🔗</a>	

## マテリアルな項目

### 経済パフォーマンス

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 社長メッセージ</li> <li>&gt; グループの経営戦略</li> </ul>	
GRI 201：経済パフォーマンス 2016	201-1	創出、分配した直接的経済価値	> 財務・業績	

### 腐敗防止

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 102：一般開示事項 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	> コンプライアンス（法令等遵守）	
GRI 205：腐敗防止 2016	205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	> コンプライアンス（法令等遵守）	「腐敗に関するリスク評価の対象とした事業所の総数と割合」は開示していません。
	205-3	確定した腐敗事例と実施した措置	当期に重要な事象の発生はありませんでした	

## 反競争的行為

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 102：一般開示事項 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; コンプライアンス（法令等遵守）</li> </ul>	
GRI 206：反競争的行為 2016	206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	当期中に重要な事象の発生はありませんでした	

## 原材料

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>	
GRI 301：原材料 2016	301-1	使用原材料の重量または体積	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（環境取組）</li> </ul>	

## エネルギー

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>	
GRI 302：エネルギー 2016	302-1	組織内のエネルギー消費量	> サステナビリティ関連データ（環境取組）	
	302-2	組織外のエネルギー消費量	> サステナビリティ関連データ（環境取組）	

## 水

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB：環境のために &gt; 取組み <a href="#">☞</a></li> </ul>	
GRI 303：水 2016	303-1	水源別の取水量	> サステナビリティ関連データ（環境取組）	

## 大気への排出

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 社会・環境への取り組み</li> </ul>	
GRI 305：大気への排出 2016	305-1	直接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ1)	> サステナビリティ関連データ (環境取組)	
	305-2	間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ2)	> サステナビリティ関連データ (環境取組)	
	305-3	その他の間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ3)	> サステナビリティ関連データ (環境取組)	

## 排水および廃棄物

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 社会・環境への取り組み</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB：環境のために &gt; 取組み <a href="#">☞</a></li> </ul>	
GRI 306：排水および廃棄物 2016	306-2	種類別および処分方法別の廃棄物	> サステナビリティ関連データ (環境取組)	廃棄物の処分は地方自治体の処分方法によります。



## 環境コンプライアンス

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>	
GRI 307：環境コンプライアンス 2016	307-1	環境法規制の違反	当期に重要な事象の発生はありませんでした	

## 雇用

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 働きやすい職場への取組み</li> </ul>	
GRI 401：雇用 2016	401-1	従業員の新規雇用と離職	> サステナビリティ関連データ（従業員の状況）	「新規雇用・離職の年齢層、性別、地域による内訳」は開示していません。
	401-3	育児休暇	> サステナビリティ関連データ（従業員の状況）	「育児休暇を取る権利を有していた従業員の総数」は開示していません。

## 研修と教育

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 従業員</li> </ul>	
GRI 404：研修と教育 2016	404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（従業員の状況）</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB 人材育成 <a href="#">☞</a></li> </ul>	

## ダイバーシティと機会均等

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 働きやすい職場への取組み</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB：ダイバーシティ&amp;インクルージョン &gt; ワーク・ライフ・バランス <a href="#">☞</a></li> </ul>	
GRI 405：ダイバーシティと機会均等 2016	405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（コーポレートガバナンス）</li> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（従業員の状況）</li> <li>&gt; 働きやすい職場への取組み</li> </ul>	「年齢層別」のデータは開示していません。

## 人権アセスメント

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 人権の尊重</li> </ul>	
GRI 412：人権アセスメント 2016	412-2	人権方針や手順に関する従業員研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 人権の尊重</li> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（人権啓発研修）</li> </ul>	「従業員研修を実施した総時間数」は開示していません。

## 地域コミュニティ

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>	
GRI 413：地域コミュニティ 2016	413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（地域社会とともに）</li> </ul>	当グループは単一セグメントのため「事業のうち、中略、コミュニティ開発プログラムを実施したものの比率」は対象外です。

## 顧客プライバシー

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 情報資産の保護</li> </ul>	
GRI 418：顧客プライバシー 2016	418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 情報資産の保護（顧客のプライバシーの侵害および顧客データの損失に関する実証済みの苦情はなかった）</li> </ul>	

## 社会経済面のコンプライアンス

GRIスタンダード・開示事項			記載場所	省略
GRI 103：マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a></li> </ul>	
	103-2	マネジメント手法とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; コンプライアンス（法令等遵守）</li> </ul>	
GRI 419：社会経済面のコンプライアンス 2016	419-1	社会経済分野の法規制違反	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 当期に重要な事象の発生はありませんでした</li> </ul>	

# GRI内容索引

サステナビリティレポートは、GRI（Global Reporting Initiative）の「サステナビリティ・レポート・ガイドライン」の中核（Core）に準拠して制作しました。そのため特定標準開示項目は、マテリアルな側面（自社にとって重要だと選定した項目）のみ記載しています。

スタンダード

第4版

## 一般標準開示項目

### 戦略および分析

区分・項目ナンバー		記載箇所、追加情報または省略
G4-1	組織の最高意思決定者の声明	> 社長メッセージ

## 組織のプロフィール

区分・項目ナンバー		記載箇所、追加情報または省略
G4-3	組織の名称	> 会社概要
G4-4	主要なブランド、製品およびサービス	> グループ企業一覧
G4-5	本社の所在地	> 会社概要
G4-6	組織が事業展開している国	> グループ企業一覧
G4-7	組織の所有形態や法人格の形態	> 会社概要 > 株式基本情報
G4-8	参入市場	> グループ企業一覧
G4-9	組織の規模	> 会社概要 > グループ企業一覧 > サステナビリティ関連データ（従業員の状況） > 業績ハイライト・第一生命ホールディングス（従業員数）
G4-10	総従業員数、労働力の内訳	> サステナビリティ関連データ（従業員の状況）
G4-11	団体交渉協定の対象となる全従業員の比率	> 従業員（労働組合）
G4-12	組織のサプライチェーン	> ステークホルダーコミュニケーション
G4-13	報告期間中の組織の規模、構造等の重大な変更	> サステナビリティレポート

## 外部イニシアティブへのコミットメント

区分・項目ナンバー		記載箇所、追加情報または省略
G4-14	予防的アプローチや予防原則への取り組み	> リスク管理
G4-15	経済、環境、社会憲章・原則、イニシアティブ	> 社会への宣言・イニシアティブへの参加
G4-16	団体や国内外の提言機関の会員資格	> 社会への宣言・イニシアティブへの参加

## 特定されたマテリアリティーとパウンダリーの定義

区分・項目ナンバー		記載箇所、追加情報または省略
G4-17	連結財務諸表の対象となる事業体	> グループ企業一覧
G4-18	報告内容と側面のパウンダリーの決定プロセス	> 重要課題の選定プロセス > ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a>
G4-19	マテリアル側面の一覧表	> 重要課題の選定プロセス > ※重要課題とGRI重要側面の対照表はこちら (118KB) <a href="#">PDF</a>
G4-20	各マテリアル側面の組織内での重要性	> 重要課題の選定プロセス
G4-21	各マテリアル側面の組織外での重要性	> 重要課題の選定プロセス
G4-22	過去情報の修正再記述における影響	当期に重要な事象の発生はありませんでした
G4-23	スコープおよび側面のパウンダリーの変更	当期に重要な事象の発生はありませんでした

## ステークホルダーエンゲージメント

区分・項目ナンバー		記載箇所、追加情報または省略
G4-24	ステークホルダー・グループの一覧	> ステークホルダーコミュニケーション
G4-25	ステークホルダーの特定および選定基準	> ステークホルダーコミュニケーション > 反社会的勢力への対応
G4-26	ステークホルダー・エンゲージメント・アプローチ	> ステークホルダーコミュニケーション
G4-27	ステークホルダー・エンゲージメントで提起されたテーマ	> ステークホルダーコミュニケーション > お客さまへの取組み

## 報告書のプロフィール

区分・項目ナンバー		記載箇所、追加情報または省略
G4-28	提供情報の報告期間	> サステナビリティレポート
G4-29	最新の発行済報告書の日付	> サステナビリティレポート
G4-30	報告サイクル	> サステナビリティレポート
G4-31	報告書に関する質問の窓口	> サステナビリティレポート
G4-32	「準拠」のオプションとGRI内容索引	GRIガイドライン第4版
G4-33	外部保証	> 第一生命保険WEB 環境：実績 <a href="#">🔗</a>

## ガバナンス

区分・項目ナンバー		記載箇所、追加情報または省略
G4-34	組織のガバナンス構造	> コーポレートガバナンス体制 > 推進体制

## 倫理と誠実性

区分・項目ナンバー		記載箇所、追加情報または省略
G4-56	組織の価値、理念および行動基準・規範	> グループのサステナビリティの考え方

## 特定標準開示項目

### カテゴリー 経済

側面：経済的パフォーマンス

カテゴリー、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	> 社長メッセージ > グループの経営戦略 > 重要課題の選定プロセス
G4-EC1	創出、分配した直接的経済価値	> 財務・業績



## カテゴリー 環境

### 側面：原材料

カテゴリー、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>
G4-EN1	使用原材料の重量または量	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（環境取組）</li> </ul>

### 側面：エネルギー

カテゴリー、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>
G4-EN3	組織内のエネルギー消費量	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（環境取組）</li> </ul>
G4-EN5	エネルギー原単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（環境取組）</li> </ul>

### 側面：水

カテゴリー、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>
G4-EN8	水源別の総取水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（環境取組）</li> </ul>

## 側面：大気への排出

カテゴリ、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>
G4-EN15	直接的な温室効果ガス（GHG）総排出量（スコープ1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（環境取組）</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB 環境：体制 <a href="#">☞</a></li> </ul>
G4-EN16	間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（環境取組）</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB 環境：体制 <a href="#">☞</a></li> </ul>

## 側面：排水および廃棄物

カテゴリ、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>
G4-EN23	種類別および処分方法別の廃棄物の総重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（環境取組）</li> <li>• 廃棄物の処分は地方自治体の処分方法による。</li> </ul>

## 側面：コンプライアンス

カテゴリ、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>
G4-EN29	環境法規制の違反に関する罰金額、制裁措置の件数	該当なし

## 側面：輸送・移動

カテゴリ、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>
G4-EN30	業務に使用するその他物品の輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（環境取組）</li> </ul>

## 側面：環境全般

カテゴリ、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>
G4-EN31	環境保護目的の総支出と総投資（種類別）	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（環境取組）</li> </ul>

## | カテゴリ：社会

## サブカテゴリ：労働慣行とディーセントワーク

## 側面：雇用

カテゴリ、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 働きやすい職場への取組み</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB：ダイバーシティ&amp;インクルージョン &gt; ワーク・ライフ・バランス <a href="#">☞</a></li> </ul>
G4-LA1	従業員の新規雇用者と離職者の総数と比率（年齢、性別および地域による内訳）	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（従業員の状況）</li> </ul>
G4-LA3	出産・育児休暇後の復職率および定着率（男女別）	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（従業員の状況）</li> <li>• 「育児休暇を取る権利を有していた従業員の総数」は開示していません。</li> </ul>

## 側面：研修および教育

カテゴリー、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 従業員</li> </ul>
G4-LA10	スキル・マネジメントや生涯学習のプログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（従業員の状況）</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB 人材育成 <a href="#">☞</a></li> </ul>

## 側面：多様性と機会均等

カテゴリー、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 働きやすい職場への取組み～ダイバーシティ&amp;インクルージョン～</li> </ul>
G4-LA12	ガバナンス組織の構成と従業員の内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（コーポレートガバナンス）</li> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（従業員の状況）</li> <li>&gt; 働きやすい職場への取組み～ダイバーシティ&amp;インクルージョン～</li> </ul>

## カテゴリー 社会

### サブカテゴリー：人権

## 側面：投資

カテゴリー、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 人権の尊重</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> </ul>
G4-HR2	人権方針および手順の従業員研修総時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 人権の尊重</li> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（人権啓発研修）</li> </ul>

## カテゴリー 社会

### サブカテゴリー：社会

#### 側面：地域コミュニティ

カテゴリー、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>
G4-SO1	事業のうち、地域コミュニティとのエンゲージメント、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施したものの比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> <li>&gt; サステナビリティ関連データ（地域社会とともに）</li> <li>• 当グループは単一セグメントのため「事業のうち、中略、コミュニティ開発プログラムを実施したものの比率」は対象外です。</li> </ul>

#### 側面：腐敗防止

カテゴリー、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; コンプライアンス（法令等遵守）</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> </ul>
G4-SO3	腐敗に関するリスク評価を行っている事業の総数と比率、特定した著しいリスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; コンプライアンス（法令等遵守）</li> </ul>
G4-SO5	確定した腐敗事例、および実施した措置	当期に重要な事象の発生はありませんでした

#### 側面：反競争的行為

カテゴリー、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; コンプライアンス（法令等遵守）</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> </ul>
G4-SO7	反競争的な行動、反トラストおよび独占的慣行により法的措置を受けた事例の総件数およびその結果	当期に重要な事象の発生はありませんでした

## 側面：コンプライアンス

カテゴリ、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; コンプライアンス（法令等遵守）</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> </ul>
G4-S08	法規制の違反に対する相当額以上の罰金金額および罰金以外の制裁措置の件数	当期に重要な事象の発生はありませんでした

## カテゴリ 社会

## サブカテゴリ：製品責任

## 側面：製品およびサービスのラベリング

カテゴリ、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; 推進体制</li> <li>&gt; 重要課題の選定プロセス</li> <li>&gt; お客さまへの取り組み</li> </ul>
G4-PR5	顧客満足度調査の結果	> サステナビリティ関連データ（お客さまとのかかわり）

## 側面：顧客プライバシー

カテゴリ、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	> 情報資産の保護
G4-PR8	顧客のプライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して実証された不服申立の総件数	> 情報資産の保護（顧客のプライバシーの侵害および顧客データの損失に関する実証済みの苦情はなかった）

## 側面：アクティブオーナーシップ

カテゴリ、マテリアル側面、DMAと指標		記載箇所、追加情報または省略
DMA	マネジメント手法の報告	> 第一生命保険WEB スチュワードシップ活動 <a href="#">☞</a>
G4-FS10	報告組織が、環境的・社会的課題について相互に関係したことのある会社のポートフォリオに占める割合と会社数	> 第一生命保険WEB スチュワードシップ活動 <a href="#">☞</a>
G4-FS11	環境的・社会的側面のポジティブおよびネガティブ・スクリーニングを行っている資産の割合	> 第一生命保険WEB ESG投融資 <a href="#">☞</a>

# ISO26000

サステナビリティレポートをISO26000の観点からご覧になる方に向けて、内容索引を作成しています。

## 6.2 組織統治

中核主題および課題		掲載場所
		<ul style="list-style-type: none"> <li>＞ 社長メッセージ</li> <li>＞ グループのサステナビリティ</li> <li>＞ ガバナンス</li> <li>＞ ステークホルダーコミュニケーション</li> <li>＞ 働きやすい職場への取組み</li> </ul>

## 6.3 人権

中核主題および課題		掲載場所
課題1	デューディリジェンス	＞ 人権の尊重
課題2	人権に関する危機的状況	—
課題3	加担の回避	<ul style="list-style-type: none"> <li>＞ 人権の尊重</li> <li>＞ 反社会的勢力への対応</li> <li>＞ 第一生命保険WEB 機関投資家として <a href="#">☞</a></li> </ul>
課題4	苦情解決	＞ ステークホルダーコミュニケーション
課題5	差別及び社会的弱者	<ul style="list-style-type: none"> <li>＞ 人権の尊重</li> <li>＞ 働きやすい職場への取組み</li> </ul>
課題6	市民的及び政治的権利	＞ 人権の尊重
課題7	経済的、社会的及び文化的権利	<ul style="list-style-type: none"> <li>＞ 健康への取組み</li> <li>＞ 社会・環境への取組み</li> </ul>
課題8	労働における基本的原則及び権利	<ul style="list-style-type: none"> <li>＞ 人権の尊重</li> <li>＞ 働きやすい職場への取組み</li> <li>＞ ステークホルダーコミュニケーション (従業員)</li> <li>＞ 第一生命保険WEB 機関投資家として <a href="#">☞</a></li> </ul>

## 6.4 労働慣行

中核主題および課題		掲載場所
課題1	雇用及び雇用関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 人権の尊重</li> <li>&gt; 働きやすい職場への取組み</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB 機関投資家として <a href="#">☞</a></li> </ul>
課題2	労働条件及び社会的保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 人権の尊重</li> <li>&gt; 働きやすい職場への取組み</li> <li>&gt; ステークホルダーコミュニケーション (従業員)</li> </ul>
課題3	社会対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; ステークホルダーコミュニケーション (従業員)</li> </ul>
課題4	労働における安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 健康への取組み</li> </ul>
課題5	職場における人材育成及び訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 第一生命保険WEB 人材育成 <a href="#">☞</a></li> </ul>

## 6.5 環境

中核主題および課題		掲載場所
課題1	汚染の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB 機関投資家として <a href="#">☞</a></li> </ul>
課題2	持続可能な資源の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB 機関投資家として <a href="#">☞</a></li> </ul>
課題3	気候変動の緩和及び気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB 機関投資家として <a href="#">☞</a></li> </ul>
課題4	環境保護、生物多様性、及び自然生息地の回復	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 社会・環境への取組み</li> </ul>



## 6.6 公正な事業慣行

中核主題および課題		掲載場所
課題1	汚職防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; グループのサステナビリティの考え方</li> <li>&gt; コンプライアンス（法令等遵守）</li> </ul>
課題2	責任ある政治的関与	—
課題3	公正な競争	> コンプライアンス（法令等遵守）
課題4	バリューチェーンにおける社会的責任の推進	—
課題5	財産権の尊重	—

## 6.7 消費者課題

中核主題および課題		掲載場所
課題1	公正なマーケティング、事実に即した偏りのない情報、及び公正な契約慣行	> ステークホルダーコミュニケーション（お客さま）
課題2	消費者の安全衛生の保護	—
課題3	持続可能な消費	—
課題4	消費者に対するサービス、支援、並びに苦情及び紛争の解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; ステークホルダーコミュニケーション（お客さま）</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB 保険金・給付金のお支払いに関する取組み <a href="#">☞</a></li> </ul>
課題5	消費者データ保護及びプライバシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 情報資産の保護</li> <li>&gt; 第一生命保険WEB 個人情報の取扱いについて <a href="#">☞</a></li> </ul>
課題6	必要不可欠なサービスへのアクセス	—
課題7	教育及び意識向上	> ステークホルダーコミュニケーション（お客さま）

## 6.8 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

中核主題および課題		掲載場所
課題1	コミュニティへの参画	> 社会・環境への取組み（社会）
課題2	教育及び文化	> 社会・環境への取組み（社会）
課題3	雇用創出及び技能開発	—
課題4	技術の開発及び技術へのアクセス	—
課題5	富及び所得の創出	—
課題6	健康	> 健康への取組み
課題7	社会的投資	> 社会・環境への取組み

# 持続可能な開発目標 (SDGs)

2015年9月、国連総会で「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、その中で17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals)が策定されました。

下の対照表は、「持続可能な開発目標 (SDGs)」の17の目標に寄与する第一生命グループの取組みをまとめたものになります。第一生命グループは、今後もサステナビリティの実現に向けた取組みを推進することで、SDGsの解決に貢献していきます。

	ゴール	取組み内容	記載箇所
	<b>1.貧困をなくそう</b> あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	ESG投資の一環として「インクルーシブ・ビジネス・ボンド <sup>※1</sup> 」、「マイクロファイナンスボンド <sup>※2</sup> 」への投資	➢ 社会・環境への取組み (社会)
	<b>2.飢餓をゼロに</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	※1 世界の低所得者層をバリューチェーンに組み込んだ事業への投融資 ※2 途上国の中小・零細企業に対する事業資金の投融資	
	<b>3.すべての人に健康と福祉を</b> あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	自治体とのがん啓発等の協定締結による地域の健康増進活動	➢ 健康への取組み－社外への取組み (お客さま・地域の皆さまへ)
		営業活動の相談サービス等による、お客様への健康・医療・介護サービスの情報提供	➢ 健康への取組み－社外への取組み (お客さま・地域の皆さまへ)
		従業員向け健康セミナー・健康増進キャンペーン等による生活習慣改善、健康診断等受診の徹底	➢ 健康への取組み－社内への取組み (従業員へ)
	<b>4.質の高い教育をみんなに</b> すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	グループ企業によるインドでの学校設備改修・備品供給、学費支援等の教育支援の継続的实施	➢ 社会・環境への取組み (社会)
	<b>5.ジェンダー平等を実現しよう</b> ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	女性従業員活躍のための意識改革や育成体系充実、中期経営計画に女性管理職比率の目標を設定	➢ 働きやすい職場への取組み
		自社保有不動産への保育所誘致・学童保育誘致、財団での新設保育所の設備購入費用助成事業	➢ 社会・環境への取組み (社会)

 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p><b>6.安全な水とトイレを世界中に</b>                  すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>	<p>該当なし</p>	<p>—</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p><b>7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b>                  すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>海外プロジェクトファイナンスに投融资する信託スキームを活用した洋上風力発電設備建設プロジェクトへの投資</p>	<p>                     &gt; 社会・環境への取組み (環境)                      &gt; 第一生命保険ニュースリリース「海外洋上風力発電事業に対するプロジェクトファイナンス投資について」 <a href="#">PDF</a> </p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p><b>8.働きがいも経済成長も</b>                  包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する</p>	<p>多様なニーズに対応する高品質の保険サービスによる保険アクセスの促進・拡大</p>	<p>&gt; お客さまへの取組み</p>
		<p>ワーク・ライフ・バランス推進・育成プログラム充実等による働きがいのある職場作り</p>	<p>&gt; 働きやすい職場への取組み</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p><b>9.産業と技術革新の基盤を作ろう</b>                  強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	<p>グループ企業による、ベトナム農村地域のコンクリート製の橋を建設する継続的な取組み</p>	<p>&gt; 社会・環境への取組み (社会)</p>
		<p>保険ビジネスとテクノロジーの両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する科学研究</p>	<p>&gt; 健康への取組み—社外への取組み (お客さま・地域の皆さまへ)</p>
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p><b>10.人や国の不平等をなくそう</b>                  各国内及び各国間の不平等を是正する</p>	<p>障がい者の積極採用・働く環境整備、人権尊重、LGBTフレンドリーによる多様な人々の包含</p>	<p>                     &gt; 働きやすい職場への取組み                      &gt; 人権の尊重                 </p>
		<p>専門機関と連携し、営業活動の相談サービス等を通じて、認知症・長寿医療に関する情報提供</p>	<p>&gt; 健康への取組み—社外への取組み (お客さま・地域の皆さまへ)</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p><b>11.住み続けられるまちづくりを</b>                  包摂的で安全かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<p>エネルギー使用・温暖化ガス排出・紙・廃棄物削減を推進し、都市の環境上の悪影響を低減</p>	<p>&gt; 社会・環境への取組み (環境)</p>
 <p>12 つくる責任つかう責任</p>	<p><b>12.つくる責任つかう責任</b>                  持続可能な生産消費形態を確保する</p>	<p>事業活動の紙使用削減・グリーン購入・廃棄物リサイクル推進等による省資源への取組み</p>	<p>&gt; 社会・環境への取組み (環境)</p>

 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p><b>13.気候変動に具体的な対応を</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	<p>自然災害に対する強靱性向上・海洋汚染低減・内陸淡水生態系保全に効果のあるマングローブの苗木植樹をインドネシアで実施 植林活動を行う団体のスポンサーとして自然環境保護活動に注力</p>	<p>➢ 社会・環境への取組み（環境）</p>
 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p><b>14.海の豊かさを守ろう</b> 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>		
 <p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p><b>15.陸の豊かさを守ろう</b> 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>		
 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p><b>16.平和と公正をすべての人に</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>	<p>グループの事業運営においてコンプライアンスを推進していく態勢整備</p>	<p>➢ コンプライアンス（法令等遵守）</p>
		<p>すべての取引において反社会的勢力との一切の関係遮断・被害防止に努める</p>	<p>➢ 反社会的勢力への対応</p>
 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p><b>17.パートナーシップで目標を達成しよう</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>	<p>社会貢献型債券への投資を通じて、国際開発金融機関の取組みを金融面からサポート</p>	<p>➢ 社会・環境への取組み（社会）</p>
		<p>イニシアティブへの参加を通じ、マルチステークホルダー・パートナーシップにより持続可能な社会実現の取組みを推進</p>	<p>➢ 社会への宣言・イニシアティブへの参加</p>

# サステナビリティ関連データ

算定範囲：各項目とも特別な記載がない場合は、第一生命ホールディングスの情報

## コーポレート・ガバナンス

組織形態	監査等委員会設置会社
------	------------

### 取締役構成

単位：人

	2016年10月	2017年6月
取締役数	18	15
（うち社外取締役数）	6	5
（うち外国人取締役数）	1	1
（うち女性取締役数）	1	1
社外取締役のうち独立役員数	6	5

### 監査等委員構成

単位：人

	2016年10月	2017年6月
監査等委員数	5	5
（うち社外取締役数）	3	3
社外取締役のうち独立役員数	3	3

## 指名諮問委員会

単位：人

	2016年度	2017年度
委員長（議長）	社外取締役	社外取締役
委員数	5	5
（うち社内取締役数）	2	2
（うち社外取締役数）	3	3

## 報酬諮問委員会

単位：人

	2016年度	2017年度
委員長（議長）	社外取締役	社外取締役
委員数	6	5
（うち社内取締役数）	2	2
（うち社外取締役数）	4	3

## 役員構成（取締役兼務者含む）

単位：人

	2016年度	2017年度※
役員数	35	32
（うち女性）	2	2
（うち外国人）	1	1
女性比率	6%	6%

※ 2017年6月26日時点

## IR活動状況

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
決算説明会	4回	4回	4回	4回	4回
経営説明会	2回	2回	2回	1回	2回
アナリストデー・説明会	0回	0回	1回	1回	1回
機関投資家とのエンゲージメント	国内約200社 海外100社超	国内約200社 海外100社超	国内約100社 海外200社超	国内約140社 海外360社	国内約100社 海外300社超

## お客さまとのかかわり

### お客さまとのつながり（第一生命）

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
ショップ数	82店	81店	82店	77店	75店
代理店数	2,597店	2,590店	2,950店	3,056店	3,352店

※ 2015年度以前は提携先である損保ジャパン日本興亜（2014年度以前は損保ジャパン）の代理店数、2016年度より全委託代理店の合計数になります。

### 支払いきななかった場合の説明制度（第一生命）

単位：件

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
異議申出窓口利用数	202	172	149	152	153
社外弁護士相談利用数	6	11	6	15	16
支払審査会利用数	6	8	1	5	2



## お客様の声（第一生命）

受付件数

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
苦情	68,174	44,691	51,253	46,929	43,943
└ 内訳率					
└ 保険契約加入関連	6.5%	8.3%	8.9%	9.7%	9.3%
└ 保険料払込関連	7.1%	7.0%	6.5%	6.9%	6.0%
└ 手続き関連	30.3%	29.0%	27.9%	27.1%	25.4%
└ 保険金・給付金支払関連	15.3%	14.9%	13.9%	14.3%	15.9%
└ その他	40.8%	40.6%	42.5%	41.8%	43.4%
感謝	60,060	107,817	233,633	385,695	560,562
ご意見・ご要望	—※1	1459※2	2,916	3,146	2,928
個人のお客様満足度	—※3	—※3	70.7%	70.9%	71.6%
法人のお客様満足度	87.5%	87.9%	91.0%	90.6%	91.6%

※1 2014年2月より開始のため実績無

※2 2014年2月～2014年3月実績

※3 Web調査は2014年度より開始のため実績なし

## 保険金・給付金支払額（第一生命）

単位：億円

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
死亡・高度障害・特定疾病等保険金	4,396	4,354	4,382	4,347	4,375
入院・手術等給付金	1,233	1,266	1,280	1,260	1,268
満期保険金・生存給付金・年金等	12,598	11,815	12,252	11,222	11,057

## 保険金・給付金支払状況（第一生命）

単位：件

		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
死亡・高度障害・特定 疾病等保険金	支払件数	80,482	82,066	85,979	87,640	91,727
	支払できなかった件数	3,495	3,701	3,539	3,689	3,774
入院・手術等給付金	支払件数	936,899	980,602	1,032,693	1,070,988	1,127,594
	支払できなかった件数	32,840	30,086	29,376	35,421	35,028

※ 満期保険金、生存給付金等を除く

※ 生命保険協会の「協会件数計上基準モデル」に則って集計した件数

## 機関投資家として（第一生命）

スチュワードシップ活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>2014年5月「責任ある機関投資家」の諸原則（日本版スチュワードシップ・コード）に賛同</li> <li>2017年度より、責任投資に関するガバナンス態勢の一層の強化を目的として、「責任投資推進室」および「責任投資委員会」を設置</li> </ul>
---------------	--

## スチュワードシップ活動状況（第一生命）

単位：社

	2014年度	2015年度	2016年度
議決権行使対象企業数	2,206	2,247	2,271
会社提案に全て賛成した企業数	1,903	1,961	2,031
会社提案に1件以上反対した企業数	302	286	240
会社提案に1件以上棄権した企業数	1	0	0
建設的な目的を持った対話	110	233	277

## 従業員の状況

### 地域別従業員構成（連結対象）

単位：人

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
日本	57,462	55,982	56,503	57,262
アジア・パシフィック（日本除）	2,050	2,189	2,401	2,580
北米	-	2,476	2,542	2,764
総合計	59,512	60,647	61,446	62,606

※ 従業員数は、第一生命グループ（第一生命ホールディングスとその連結子会社）の就業人員数（第一生命ホールディングスとの兼務者およびグループ外への出向者を除き、グループ内への受入れ出向者を含む）であり、執行役員は含んでいません。また、パートタイマー等の臨時従業員は従業員の100分の10未満であるため、記載を省略しています。

### 従業員男女構成（第一生命ホールディングス+国内3生保）

		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
日本	総従業員	55,906人	54,454人	55,033人	57,272人
	男性比率	10%	10%	9%	9%
	女性比率	90%	90%	91%	91%

※ 常勤嘱託従業員とスタッフ社員を含む

## 従業員数（第一生命）

単位：人

従業員数内訳 <sup>※1</sup>		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
生涯設計デザイナー数 <sup>※2</sup>	男性	1,221	1,201	1,167	1,196
	女性	42,145	41,061	41,816	43,884
内勤職人数 <sup>※3</sup>	男性	3,951	3,855	3,772	3,418
	女性	8,286	7,973	7,862	7,740
総合計	男性	5,172	5,056	4,939	4,614
	女性	50,431	49,034	49,678	51,624
	総従業員数	55,603	54,090	54,617	56,238

※1 国内従業員数で、パートタイマー等の臨時従業員は、従業員数の100分の10未満であるため、記載を省略します。

※2 生涯設計デザイナーの在籍数については、当社と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしているものを含んでおり、その内訳は、2013年度末1,301名、2014年度末1,412名、2015年度末1,485名、2016年度末1,585名、その他補助的業務に従事するものが2013年度末603名、2014年度末567名、2015年度末512名、2016年度末469名であります。

※3 常勤嘱託従業員とスタッフ社員を含みます。

## 管理職構成（第一生命ホールディングス+国内3生保）

		2013年度	2014年度 <sup>※</sup>	2015年度 <sup>※</sup>	2016年度
日本	男性人数	2,957人	2,783人	2,744人	2,724人
	女性人数	667人	808人	836人	873人
	女性比率（%）	18.4%	22.5%	23.3%	24.2%

※ 2013年度は第一生命のみ（内勤職+営業職）、2014・2015年度は国内生保グループ（第一生命・第一フロンティア生命・ネオファースト生命）の合算数値となります。

## 従業員の状態（第一生命）

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
採用数（生涯設計デザイナー）	8,666人	8,465人	8,645人	8,550人
採用数（内勤職）	719人	703人	756人	996人
平均年齢（生涯設計デザイナー）	47歳1ヶ月	47歳5ヶ月	47歳5ヶ月	47歳1ヶ月
平均年齢（内勤職）	43歳9ヶ月	44歳2ヶ月	44歳7ヶ月	44歳10ヶ月
平均勤続年数（生涯設計デザイナー）	10年6ヶ月	10年11ヶ月	10年11ヶ月	10年8ヶ月
平均勤続年数（内勤職）	13年11ヶ月	14年5ヶ月	14年10ヶ月	14年11ヶ月
平均月給与（生涯設計デザイナー）	255千円	252千円	252千円	265千円
平均月給与（内勤職）	297千円	301千円	304千円	297千円
従業員満足度※	3.48	3.51	3.58	3.63

※ 従業員満足度調査は現状や取組みの効果を定量的に把握し、課題解決に繋げていくツールとして位置づけています。  
算出方法：アンケート調査における主要項目（5点満点）の平均値

## 障がい者雇用率（第一生命グループ）

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
日本	2.16%	2.25%	2.23%	2.22%

※ 障がい者雇用率については、法定雇用率に則した取組みとしています。翌年の6月1日時点の雇用率

## ワーク・ライフ・バランス（第一生命）

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
育児休業数	1,056人	1,077人	1,143人	1,261人
育児のための短時間勤務利用者数	303人	379人	390人	446人
育児サービス経費補助利用者数	3,912人	3,713人	3,571人	3,726人
介護休業取得者数	250人	274人	234人	212人
ふぁみりい転勤制度利用者数	35人	46人	24人	18人
男性社員の育児休業取得率	43.8%	56.0%	85.5%	77.8%
月間平均残業時間（内勤職）	6.9時間	7.6時間	7.7時間	7.9時間
年次有給休暇平均取得日数	12.3日	12.3日	12.7日	13.0日
年次有給休暇平均取得率	65.9%	66.0%	68.1%	69.4%

## 生涯設計デザイナー本社研修（第一生命）

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
本社研修受講者数	974人	992人	1,335人	1,280人	1,814人
研修総時間	11万時間	13万時間	17万時間	17万時間	25万時間
一人当たりの受講時間	14時間39分	14時間43分	13時間56分	14時間10分	13時間21分

※ 全国から選抜された生涯設計デザイナーに対し、お客さまのさまざまなニーズにお応えできるよう高いレベルの教育を行うことを目的とした本社集合研修を実施

## 人権啓発研修（第一生命）

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
実施回数	15回	20回	19回	26回
受講者数※	169,068人	166,231人	167,002人	264,497人

※ 受講者数はのべ人数

## 地域社会とともに

### 社会貢献支出額（第一生命）

主要なテーマ：健康の増進

単位：百万円

活動主体	地域・NPO、財団等との協賛活動、自主プログラム活動
実効プラン	健康プログラムの全国展開、健康取組事業協賛・顕彰、保険教育活動
2014年度費用	363
2015年度費用	559
2016年度費用	650
2016年度取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康課題の取組み支援</li> <li>「保健文化賞」2016年度受賞者（団体10件、個人5名 賞金総額2,500万円）</li> <li>自治体との連携によるがん検診の啓発活動</li> <li>専門家による健康セミナーの開催・医療機関と連携した健康情報の提供等</li> <li>全国各地の生涯設計デザイナーを通じた健康啓発活動による国民の健康意識向上</li> <li>認知症サポーター養成講座を修了した生涯設計デザイナーによる高齢者の見守り活動実施</li> <li>NPO法人を通じ飢餓や栄養失調で苦しむ開発途上国の子どもたちの学校給食支援（2016年度 26,540食）</li> <li>医療研究機関への支援、「市民マラソン」の支援を通じた健やかな生活のサポート（Run with You）</li> </ul>

## 主要なテーマ：次世代社会の創造

単位：百万円

活動主体	NPO等との協働、社会福祉プログラム参加、協賛活動
実効プラン	保育所関連事業、消費者教育・金融保険教育活動、子どもたちへ活躍の場の提供など
2014年度費用	193
2015年度費用	298
2016年度費用	193
2016年度取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育所への助成44施設、助成総額約3,000万円</li> <li>• 保育所数増加による子育て期の母親の就業支援</li> <li>• 消費者教育の普及および啓発（出張講義実施回数96回 受講者数1,853名、無料教材提供数3,555個）</li> <li>• 新小学1年生への交通事故傷害保険付「黄色いワッペン」贈呈枚数約111万枚（2017年4月新入生用）</li> <li>• アジア諸国を対象とした保険行政および事業を担う人材育成・教育</li> <li>• ジュニアテニス選手の育成支援（小学生テニス大会出場者数 96名（男子48名、女子48名）</li> </ul>

## 主要なテーマ：環境の保全

単位：百万円

活動主体	公益財団との協賛活動、自主プログラム活動など
実効プラン	生物多様性プログラムの協賛、都市緑化活動、表彰制度など
2014年度費用	71
2015年度費用	77
2016年度費用	75
2016年度取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑化助成事業による地球温暖化防止・生物多様性保全および自然のふれあいやコミュニティの醸成</li> <li>• 「緑の環境プラン大賞」助成数13件・特別企画「おもてなしの庭」1件、「緑の都市賞」顕彰数11件</li> </ul>



## 主要なテーマ：地域社会への貢献

単位：百万円

活動主体	NPO等との協働、プログラム協賛、NPOを通じた地域社会活動など		
実効プラン	地域社会活動への参加など		
2014年度費用			5.6
2015年度費用			5.2
2016年度費用			29.5
2016年度取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員による地域でのボランティア活動取組所属占率 76.8%</li> <li>ボランティア活動プログラム数 356件（延べ数）</li> <li>熊本地震、東北地震の復興支援など</li> </ul>		

## 主要なテーマ：文化・芸術支援

単位：百万円

活動主体	NPO等との協働、プログラム協賛など		
実効プラン	海外芸術企画展への協賛、若手芸術家への活動の場および経済支援、音楽のお届けによる情操教育など		
2014年度費用			249
2015年度費用			136
2016年度費用			128
2016年度取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルノワール展 入場者数 約66.7万人</li> <li>現代美術の展覧会「VOCA展」支援（受賞者3名、賞金総額500万円、所有ギャラリーでの受賞者による個展開催3回）</li> <li>保育園・学校・医療・福祉施設等での演奏会開催活動支援実施数45回 参加者5,478名</li> </ul>		

## 寄附活動（第一生命）

単位：百万円

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
寄附額	528	623	635	751

※ 2016年度より、第一生命ホールディングスおよび第一生命の合算値になります。

## 社員ボランティア（第一生命）

単位：件

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
実施プログラム数	309	362	439	356

※ 実施プログラム数は年度ごとの延べ数

## 啓発、教育活動（第一生命）

内容		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
健康セミナー・医療関連セミナー	実施回数	-	252回	324回	260回
	参加者数	-	19,880人	23,908人	24,159人
消費者教育・金融保険教育（ライフサイクルゲーム）	無料配布数	3,480個	2,635個	2,782個	3,555個
	出張授業回数	47回	21回	48回	96回
	参加者数	1,658人	586人	2,022人	1,853人
保険教育セミナー（FALIA）※1	実施回数	4回	6回	7回	6回
	参加者数	123人	256人	198人	148人

※1 第一生命設立財団である公益財団法人 国際保険振興会（FALIA）での取組み

## 環境取組

### 環境パフォーマンスデータ

#### CO2排出量

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	
						カバー率（%）
スコープ1+スコープ2（t-CO2）	146,500	144,000	141,000	156,100	154,300	100
スコープ1（t-CO2）	14,700	15,600	14,900	14,600	14,000	100
スコープ2（t-CO2）	131,800	128,400	126,100	141,500	140,300	100
スコープ3（t-CO2）	-	4,430	4,690	4,933	158,124	77

## エネルギー消費量・輸送量・原単位

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	
						カバー率 (%)
エネルギー総消費量 (GJ)	1,434,203	1,450,644	1,433,190	1,526,624	1,509,703	100
電力消費量 (GJ)	1,024,020	995,338	961,516	1,061,668	1,055,167	100
燃料消費量 (GJ)	270,877	278,743	286,834	279,241	269,453	100
蒸気・冷水・温水消費量 (GJ)	139,306	176,563	184,840	185,715	185,083	100
輸送量						
輸送量 (t-km)	2,209,000	1,968,857	1,518,006	1,383,759	1,369,085	77
電力原単位						
電力消費量 (千kWh)	284,450	276,483	267,088	294,908	293,102	100
床面積 (千m <sup>2</sup> )	2,790	2,774	2,737	2,735	2,724	77
エネルギー原単位 (千kWh/千m <sup>2</sup> )	101	99	97	95	95	77

## 水・廃棄物・紙

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	
						カバー率 (%)
水使用量 (百万m <sup>3</sup> )	1,815	1,655	1,675	1,725	1,567	90
廃棄物排出量 (t) (除: 紙廃棄物)	484	441	412	496	551	86
紙使用量 (t)	9,849	8,116	6,509	6,559	6,998	95
紙廃棄物リサイクル量 (t)	2,925	2,789	2,350	1,850	1,800	77
グリーン購入率 (%)	93	91	90	91	90	77

CO2排出量	
スコープ1 (t-CO2) スコープ2 (t-CO2)	各年度のCO2排出量は以下のように算定  国内：2009年度の地球温暖化対策の推進に関する法律の係数を適用して算定  海外：各国の排出係数を使用しGHGプロトコルにより算定 排出係数は各国の係数を使用
スコープ3 (t-CO2)	サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースver.2.3およびカーボンフットプリントコミュニケーションプログラム基本データベースver.1.01の原単位を用いて算定
└ 【カテゴリ1】 購入した製品・サービス	OA用紙、印刷
└ 【カテゴリ2】 資本財	固定資産
└ 【カテゴリ3】 スコープ1、2に含まれない燃料及びエネルギー活動	電気
└ 【カテゴリ4】 輸送、配送（上流）	社内便
└ 【カテゴリ5】 事業から出る廃棄物	本社3事業所（日比谷・豊洲・新大井）の廃棄物
└ 【カテゴリ6】 出張	国内・海外
└ 【カテゴリ7】 雇用者の通勤	内勤職員
└ 【カテゴリ12】 販売した製品の廃棄	パンフレット・通知物
エネルギー消費量・原単位	
電力消費量 (GJ)	国内：エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）第7条第3項の規定に基づき算定  海外：GHGプロトコルにより算定 電力kWhは3.6GJ/kWhとして単位変換 燃料消費量は灯油・重油・ガスを集計
燃料消費量 (GJ)	
蒸気・冷水・温水消費量 (GJ)	
輸送量	
輸送量 (t-km)	エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）にそって算定 主にパンフレット等のグループ内の輸送量を集計
水・廃棄物・紙	
水使用量 (百万m <sup>3</sup> )	環境報告ガイドラインによる報告対象であり、水道局からの請求書の使用量から算定
廃棄物排出量 (t)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律で定義される廃棄物で紙の廃棄物を除いたもの

紙使用量 (t)	環境報告ガイドラインによる報告対象であり、購買システムデータから集計
紙廃棄物リサイクル量 (t)	
グリーン購入率 (%)	社内一括購入システムより購入した商品購入額の比率
各項共通	
カバー率	各項目報告企業従業員数÷報告対象の第一生命ホールディングスと主要子会社(26企業)の従業員数×100%

## 環境会計（第一生命）

単位：百万円

分類※1	コスト※2	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
省エネ	投資額	686	795	1,066	978
	費用額	12	11	11	11
省資源	投資額	0	0	0	0
	費用額	101	78	75	79
環境保護	投資額	0	0	0	0
	費用額	55	71	78	77
環境関連情報	投資額	0	0	0	0
	費用額	5	34	5	10

※1 分類は当社「環境中計取組計画」に準拠

※2 投資額および省資源の一部費用については、日比谷本社、豊洲本社、新大井事業所分のみ算入

## 環境保全対策に伴う経済効果（第一生命）

単位：百万円

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
電気使用量削減に伴う費用削減額※1	1,105	1,134	1,501	811
紙使用量削減に伴う費用削減額	473	297	218	378

※1 電気使用量1kWhあたりの平均単価を基準値として算出

## 投資用ビルのエネルギー使用量削減実績

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
対象物件（物件数）	125	118	113	107	107
電気消費量（kWh）	51,351,722	51,717,715	50,355,256	48,494,006	48,982,454
ガス消費量（m3）	1,925,106	1,903,953	1,834,088	1,760,586	1,774,988
冷温水消費量（MJ）	25,129,778	27,427,450	25,094,330	28,871,550	28,407,807
CO2排出量（t-CO2）	25,307	25,518	24,717	24,035	24,230

（株）第一ビルディングにて管理を行っている物件における共用部分の削減実績

## 持続可能な社会を目指す主な商品・サービス等ラインアップ

### 商品・特約等

名称ほか	ESGへの配慮※			概要	主な取扱い会社
	E	S	G		
クレストWay		○		手頃な保険料で一生涯の介護保障等を準備できる介護・医療重視型保険	第一生命
保険料払込免除特約（H25）		○		3大疾病による所定の状態、所定の身体障害状態・要介護状態になったとき、以後の保険料負担を不要にする特約	
こども応援団・Mickey		○		お子さまの大学進学にかかる教育資金を準備できる保険	
レディエールモア（女性専用特約）		○		女性に多い病気などによる所定の手術に備える特約	
からだプラス・カラダ革命		○		実年齢に代えて、「健康年齢」にもとづき、更新後の保険料が決まる保険（健康年齢にもとづき算出した保険料を比べた場合、健康年齢が若くなるほど更新後の保険料が安くなる）	ネオファースト生命
リビング・ニーズ特約		○		余命6か月以内と判断されるときに保険金を前払いする特約	第一生命・ネオファースト生命

指定代理請求特約		○		請求者が請求できない場合に、所定の要件を満たす代理人が請求者に代わって保険金などを請求することができる制度	第一生命
先進医療特約		○		先進医療による療養を受けた場合に給付金を支払いする特約	
保険金等の年金払特約		○		死亡保険金等を一時金にかえて年金で支払いする特約	第一生命・第一フロンティア生命
骨髄ドナー給付金		○		骨髄ドナー（提供者）として骨髄幹細胞または末梢血幹細胞の採取術を受けたときに支払いする給付金	第一生命・ネオファースト生命
団体信用生命保険特定状態保障特約		○		主契約で保障する死亡・所定の高度障害状態に加え、3大疾病による所定の状態・16の特定状態・所定の要介護状態になった場合、保険金を住宅ローン債務に充当する特約	第一生命
メディカルスイッチ		○		加入済の医療特約を診査・告知なしで最新の終身医療保険に変更可能な制度	
バトンタッチプラン		○		加入済の契約を家族の新しい契約に受け継ぐ制度	
契約の更新		○		保険期間が満了したときに、健康状態にかかわらず、原則としてそれまでと同一の保障内容・保険金額での保障を継続できる制度	第一生命・ネオファースト生命
特約の中途付加		○		加入済の契約の保障内容や保険期間を変えずに、新たな特約を付加できる制度	
特約変更		○		加入済の医療特約を診査・告知なしで最新の医療特約に変更可能な制度	第一生命

※ ESG：環境（Environment）、社会（Society）、ガバナンス（Governance）

上記は2017年5月時点の商品・サービス等の概要を説明したものです。

詳しくは各グループ会社のホームページ・パンフレット等をお読みください。

## サービス等

名称ほか	ESGへの配慮※			概要	主な取扱い会社
	E	S	G		
コンタクトセンター（コールセンター）		○		ライフスタイルの変化に対応し、平日以外にも土・日曜日にスタッフが加入契約に関する手続きや問い合わせにフリーダイヤルで対応 ※ ネオファースト生命：コールセンターにて平日および土曜日受付	第一生命・ネオファースト生命
シニア専用フリーダイヤルの開設		○		70歳以上のお客さまを対象とした専用フリーダイヤル	第一生命
お引き出しクイックテレホンサービス		○		専用フリーダイヤルに電話をいただくことで、「契約者貸付」「積立配当金」「すえ置金」の引き出し、利用可能金額（残高）照会ができるサービス	
「健康年齢CHECK」コンテンツ		○		年齢・性別・血圧等の健康診断結果を入力するだけで簡単に自身の「健康年齢」を測定できるコンテンツをホームページ等で提供している	第一生命・ネオファースト生命
スマートフォンアプリ「健康第一」		○		お客さまによる自発的な意識・行動の変容につなげていただくことを目的として、さまざまなサービスを提供する新しいタイプの健康増進アプリ	第一生命
健康ほっとダイヤル		○		健康・医療・生活・メンタルヘルス等、契約者、被保険者およびその家族の方が利用できる無料電話相談サービス	ネオファースト生命
第一生命けんこうサポートデスク		○		法人のお客さま向け商品における付帯サービスとして、健康相談からメンタルヘルスに関する相談まで幅広いメニューを提供	第一生命
メディカルサポートサービス		○		個人保険の契約者・被保険者とその家族の方を対象として、健康・医療・育児・介護に関する相談や情報提供を電話で24時間365日利用いただける情報提供サービス	
先進医療情報ステーション		○		当社HPで、先進医療の基礎知識・技術内容・実施医療機関の情報を提供するサービス	
契約者向けインターネットサービス	○	○		インターネット上でご契約内容照会や各種手続きなどを行うことができるサービス	第一フロンティア生命



ご契約者専用サイト	○	○		インターネット上で契約内容の確認や各種手続き、さまざまな情報やサービスを便利に利用いただける契約者専用のWebサイト	第一生命
ご加入手続きのペーパーレス化	○			タブレット端末『DL Pad (ディーエル・パッド)』による契約申込み・告知・保険料支払がシームレスにできる仕組み	
保険金・給付金等支払いに関する定期的な情報提供		○		過去10年間の支払内容、特に注意いただきたいケースなどを掲載した小冊子「生涯設計レポート」を年1回送付	
「福利厚生に関する実態調査」の提供		○		取引先企業に対して、福利厚生制度の導入状況についてのアンケート調査を実施し、結果をレポート(冊子)にまとめて提供するサービス	
保険料の自動貸付制度		○		保険料の払込みがないまま猶予期間を過ぎた場合でも、所定の解約返還金があればその範囲内で、自動的に保険料を立て替え、契約を有効に継続させる制度	
契約の復活制度		○		失効した契約を有効な状態に戻す制度	第一生命・ネオファースト生命
保険金クイックお受取サービス		○		葬儀費用など緊急資金が必要となった場合、一定要件を満たす死亡保険金の請求について、手続き当日中に支払うサービス	第一生命
死亡保険金簡易お手続きサービス		○		公的書類の準備に時間がかかる場合でも、所定請求書と死亡診断書、本人確認書類の提出で、最大500万円の死亡保険金について保険金を先に支払うサービス	
成年後見制度サポート		○		成年後見人の選任を必要とされるお客さまに、法的な手続きのサポートを行える司法書士の紹介を取次ぎするサービス	
「想いの定期便」の信託契約代理店		○		みずほ信託銀行の信託商品「想いの定期便」を同社の信託契約代理店として媒介 ※「想いの定期便」は、保険契約者が信託銀行と信託契約を締結することにより、死亡保険金の使い途を生前にオーダーメイドで設計し、万が一の場合、指定した方に対して指定した内容で支払う商品	
相続・遺族年金制度等の情報提供、コンサルティング		○		相続をサポートするため、死亡保険金の支払時に「遺族年金制度」や「相続税制」に関する情報提供、保険金を含めた相続財産に関するコンサルティングを実施	

約款のDVD-ROM化	○			約款をDVD-ROMで提供	
Web約款	○			約款をWebサイト上で提供	第一生命・第一フロンティア 生命・ネオファースト生命
社外弁護士相談制度		○	○	保険金・給付金の支払いに関して、当社の説明に納得いただけない場合、希望により「社外弁護士」（当社と顧問契約を締結していない弁護士）に相談できる制度	第一生命
支払審査会制度		○	○	保険金・給付金の支払いに関して、当社の説明に納得いただけない場合、客観的かつ中立的な視点で支払査定結果を審査する「支払審査会」に申し込みできる制度  ※ 同審査会は、客観性を確保するため、社外の専門家（弁護士・医師・消費者問題の専門家）のみで構成	

※ ESG：環境（Environment）、社会（Society）、ガバナンス（Governance）

上記は2017年5月時点の商品・サービス等の概要を説明したものです。

詳しくは各グループ会社のホームページ・パンフレット等をお読みください。